

令和2年(2020年)がスタートしました。1月8日の始業式において、3年生の生徒たちには、高校生活の集大成として一日一日を大切に過ごしてほしいこと、2年生の生徒たちには、進路実現に向け「時間のない選択」をしないこと、1年生の生徒たちには、「今の高校生活でいいのだろうか」と振り返ることの大切さなどを話したところです。3学期は本当にあっという間に過ぎ去る学期です。私たち職員も、生徒と共に一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。今年も、生徒、職員一丸となり頑張っまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【地域連携型交流学习会の発表会実施】

1月23日(木)の午前中に、3年生のビジネス情報科の生徒たちが1年間実施してきた、「地域連携型交流学习」つまり長期インターンシップの成果発表会が行われました。今年は、企業の方にもおいで頂き、発表会を開催することができました。年間20日間の長期実習は、生徒たちが社会に出て行くにあたり、大きな自信となったようです。発表する生徒の姿勢からもそのことを窺うことができました。



た。県でも「若者の地方定着の促進」が行われていますが、県では本校だけのこの「地域連携型交流学习」の取組みは、職業観・勤労観の更なる育成は勿論のこと、地元熊本に就職する地方定着の促進にも役立っているものと思います。生徒の長期にわたる実習を快く受け入れて頂き、また、懇切丁寧にご指導頂きました企業の皆様方に心より感謝申し上げます。下記は、生徒の実習における感想の一部です。

- ・仕事が分からないときは、いかに相談することが大切であるかよく分かった。
- ・長期のインターンシップを通して、どんなことに対しても責任感を持って取り組める人間に成長できたと思う。そのことが、今の自信となっている。
- ・会社に対して感謝の気持ちを忘れずに仕事がしたいと、この実習を通して強く思った。
- ・コミュニケーション力が高まり成長することができた。早く社会人として働きたい気持ちが高まった。また、世間話ができる人材も企業は求められていることが分かった。
- ・トラブルが発生しても、落ち着いて行動できるようになった。

【課題研究及び実践発表会】

1月23日(木)の午後からは、福祉教養コース、ビジネス情報科の生徒による課題研究及び実践発表会も行われました。本校は、福祉と商業を専門に学べる学校ですが、お互いの学科、コースがどのような課題を設定し研究を行っているかを分かり合える意味でも今日の発表会は、更に有意義な会となりました。



午前中に実施した「地域連携型交流学习」、「家庭科の調査研究」、「福祉体験発表」、「生徒商業研究発表」、「海外インターンシップ報告」等が行われ、生徒たちは真剣にメモを取り、先輩たち、同級生たちの研究発表に感動していました。生徒たちの多くの体験学習にご支援頂いた地域の方々を始め関係者の皆様方に改めて感謝申し上げます。